

「ほめあおうの日」でいじめゼロ！プロジェクト

弥永西小学校

1 取組の期間 令和2年7月6日（水）～ 通年

2 取組のねらい

子どもたちが、お互いの良いところを見つけてほめたり、またほめられて嬉しかった思いを伝えたりすることで、相互理解を深め、自尊感情を高める。

3 取組の実際

計画委員会で、①身の回りのいじめの現状、②いじめをなくすために大切なこと、③それを実現するための取り組み、の3点について話し合った。結果、「ほめあおうの日」を設定することが決まった。「ほめあおうの日」とは、毎週班の中から1人ほめる人を決めて一週間観察し、金曜日の帰りの会で、その人が頑張っていたことや良いところを班の中で全員伝えるというもの。さらに、例年行っている



「ハッピーボックス」の取り組みを進化させ、「ほめあおうの日」にほめてもらって嬉しかったことを書いて箱に入れることにした。ハッピーボックスに入れられた紙は、毎週計画委員会で選別して特に全校に知らせたいものを各学年1名ずつ選び、金曜日の給食時間に放送することになった。

いじめゼロの取り組みについてお願い
令和2年7月6日(月)計画委員会
福岡市の全ての小学校、中学校、特別支援学校でいじめをなくすためのいじめゼロという取り組みをすることになった。今年も計画委員会で、今の問題とそれを解決するための取り組みについて話し合いました。考えた取り組みは下の2つです。

① ほめあおうの日
毎週月曜日に自分の班で「ほめる人」を1人決めます。それが金曜日までに自分の班で、帰りの会のと同時に1分くらいその人のことをほめる人になって順番にほめていきます。毎週やるので、4人だと1ヶ月で全員が1回ずつほめてもらえることになります。

② ハッピーボックス
職員室前にハッピーボックスと名づけた箱を設置します。去年、この学校でした取り組みと名前は同じですが、書く内容は、「ほめあおうの日」にほめてもらって一番うれしかったことだけにします。たとえば「〇〇さんが□□って言ってくれた△△な気持ちになった」とほめてもらう人がほめてくれたことについて気持ちを書いて伝えることでほめた人もほめてもらう人もいい気持ちになる取り組みにしたいと思っています。

7月6日の週からほめる人を決めて1週間過ごし、金曜日の帰りの会に「ほめほめタイム」を行った。班の中で向き合い、1分のタイマーがスタート。それぞれ1人ずつ、その人のいいところや頑張っているところを発表していった。中には1つだけでなく、2つ3つ言う子もいた。

「ほめほめタイム」終了後、ほめてもらった子全員に計画委員会が作成した「ハッピー用紙」を配布。それぞれがほめてもらって感じたことを用紙に書き、職員室前のハッピーボックスに入れに行った。

金曜日の放送では、どの学年からも「〇〇さんに△△と言われてすごく嬉しくなった。今度は私が見つけたあげたい。」といった声が聞かれ、聞いている子達もニコニコしていた。一巡したタイミングで夏休みを迎えたので、2学期の席替え後また新しいほめ合いの輪が広がっていくことに期待したい。

